

科学研究費助成事業（若手研究（S））研究進捗評価

課題番号	20670003	研究期間	平成20年度～平成24年度
研究課題名	神経機能制御における小胞膜輸送システムの関与	研究代表者 (所属・職)	白根 道子（九州大学・生体防御医学研究所・准教授）

【平成23年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)	
<p>本研究は、申請者が発見した FKBP38, Protrudin 分子を中心に神経発生、神経機能調節における小胞輸送システムの関与を明らかにするものである。研究計画調書に列挙していた目標が必ずしも達成されているわけではないが、Protrudin KO mice の結果は期待したい。疾患との関係は後から出てくるものであり、はじめから疾患解明を掲げる必要はなく「小胞輸送システム」にまず取り組んでほしい。研究代表者の研究グループは小さなグループであり、研究対象を広げずに絞り込んで成果を出し、優れた論文として発表してほしい。</p>	

【平成25年度 検証結果】

検証結果	<p>本研究は、FKBP38-protrudin 複合体による神経系制御の解明を目指した研究である。FKBP38 によるマイトファジー機構を明らかにするなど一定の成果を得ている。一方、FKBP38 複合体結合分子として ANKMY2, PtdIns5P, TMEM55 を同定しているものの、論文としての公表が遅れている。さらに、当初計画の中心的課題である Protrudin KO マウスについては、平成23年度研究進捗状況報告書において投稿準備中と記載されているが、依然として進展が窺えない。以上の2点において、本研究は達成目標には届いていないとは判断できない。今後は、本研究成果を早期に社会に発信し還元するなど、一般社会への積極的な啓発活動を期待する。</p>
B	